



電線張替工事中における墜落死亡災害 (2023年12月2日(土)発生)

【2023年12月7日 時点】

関西電力送配電(株)



発生概要

1. 発生日時
2023年12月2日（土） 9時23分頃
2. 発生場所
滋賀県東近江市
(22kV K線No22鉄塔)
3. 工事内容
電線張替完了後の架線検査

4. 施工体制 元請：A社 (電工経験年数)

・技術員 (被災者)	男	45歳	(22年)
・作業責任者	男	30歳	(9年)
・作業員A	男	28歳	(6年)
・作業員B	男	39歳	(19年)
・作業員C	男	68歳	(32年)
・作業員D	男	42歳	(20年)
・作業員E	男	44歳	(25年)

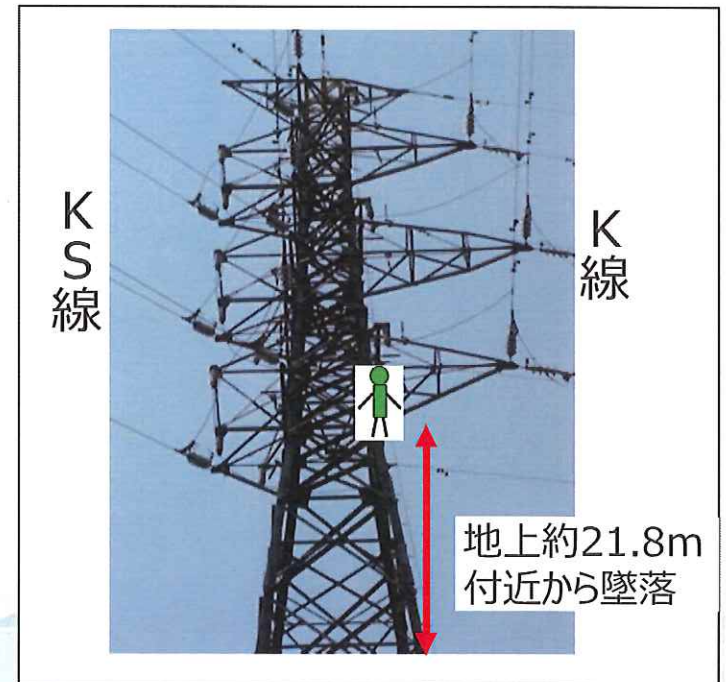
(全員元請直営作業員)

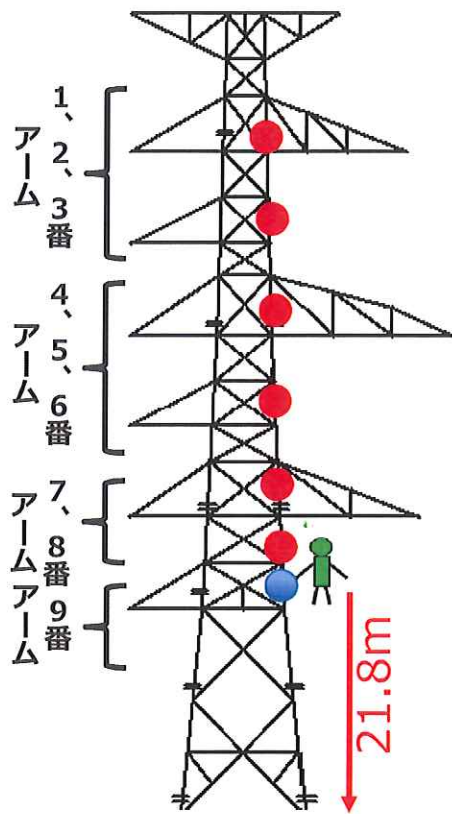
5. 発生状況 (推定)
架線検査完了後、A脚9番アーム付近から墜落
6. 被災状況
死亡

(現地位置図)



(鉄塔写真)





- ①セフティワイヤ用安全器は「開放」状態、かつ、キーロック本体に刺さった状態
- ②ワークポジショニングロープのフックは両方とも左側のD環にかかっていた。

(補足：塔上ではキーロックロープを使用しており、ランヤード（背中からのロープ）は装着なし)

○被災者が使用していた安全装備
(同仕様の装備で被災時の状況を再現)

<推定される墜落時の状況> ※詳細、確認中

- ・安全装備の状況から、無胴綱状態で安全器の切替えを行っていた。
- ・セフティワイヤ用安全器の取付不良により、墜落時にセフティワイヤから外れた。

- : K2ロープ (K1キーロックロープは記載省略)
- : セフティワイヤ中間固定金具

<被災者の動き>

- 09:01 写真撮影のため、8番アーム→1番アームへ移動
- 09:16 1～6番アームの最終確認をしながら、7番アームへ移動
- 09:18 7番アームで、仮預け物の固縛状況を確認
- 09:20 7番アームから降塔を開始
- 09:23 A脚9番アーム付近 (セフティワイヤ中間固定金具付近)より降塔中、もしくは、切替中に墜落 (推定)



○A脚9番アーム付近 (墜落推定位置) より撮影

K型SW安全器 切替手順

中間固定金具付近におけるK型SW安全器の正しい切替手順は以下のとおり。

No.	I	II	III	IV	V
手順	・姿勢保持のため、①ワークポジショニング用ロープを鉄塔に取付ける。	・②K 2ロープを使用することで、③K型SW安全器が外れる。	・K型SW安全器の本体を開けて、取外し、④中間固定金具の下に取付ける。	・⑤K型SW安全器のロックレバーを差込むことで、⑥K 2ロープが外れる。	・⑦鉄塔に取付けたワークポジショニングロープ取外したうえで降塔する。
急所	フックは目と手と耳で確認する	ロックレバーの差込（ロック）状態を確認する	安全器の取付状態を確認する	ロックレバーの差込（ロック）状態を確認する	
概要図 (降塔)					
キーロック 取付 状況	安全器 ロックバー 	K 2ロープ ロックバー 安全器 ロックバー 	K 2ロープ ロックバー 	K 2ロープ ロックバー 安全器 ロックバー 	安全器 ロックバー

【凡例】

